

長寿90歳 おめでとう

※承諾された方のみ写真および氏名を掲載しています。

町内在住で90歳を迎える方を祝う「別海町長寿賞」が奥山高子さん（昭和3年12月7日・別海）、森井やゑ子さん（昭和4年2月2日・西春別駅前）、石川久子さん（昭和4年2月15日・尾岱沼）、松田ケエさん（昭和4年2月16日・別海）、中川美津枝さん（昭和4年2月19日・別海）、松館榮一さん（昭和4年2月19日・尾岱沼）、津田俊邦さん（昭和4年2月20日・別海）、瀬戸孝代さん（昭和4年2月20日・西春別）、相澤孝一さん（昭和4年2月22日・中春別）、伊藤清子さん（昭和4年2月25日・別海）に贈られました。



石川 久子さん(尾岱沼)



松田 ケエさん(別海)



松館 榮一さん(尾岱沼)



津田 俊邦さん(別海)



瀬戸 孝代さん(西春別)



相澤 孝一さん(中春別)



伊藤 清子さん(別海)

別海町消費者大会

2/15

「第44回別海町消費者大会」が「築こう 豊かな消費生活 ～誰一人取り残さない～」をテーマに中央公民館で開催され、身近な防災についての講演や、背のばし体操の健康づくり体験、フリーマーケットなどが行われました。

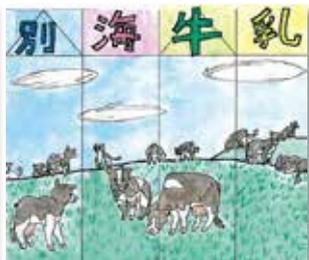
また、町内の小学生を対象に募集した第13回牛乳パッケージイメージデザインコンクールも併せて行われ、169点の作品の中から来場者による投票の結果、6点の入賞作品が選ばれました。



【1年生】原 穰一郎くん
(上西春別小学校)



【2年生】會田 滯央さん
(西春別小学校)



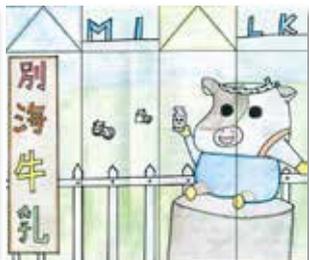
【3年生】鈴木 結愛さん
(西春別小学校)



【4年生】尾山 紗那さん
(上風連小学校)



【5年生】高橋優里愛さん
(上春別小学校)



【6年生】富崎 葉彩さん
(野付小学校)

北海道子どもかるた大会出場報告

2/27

2月17日に札幌市で開催された「第22回北海道子どもかるた大会」に出場した小中学生4チームが大会結果を報告するため、副町長と教育長を表敬訪問しました。

各チームの代表から大会結果の報告があり、副町長と教育長からは、全てのチームの健闘を称えとともに、今後の大会に向けて激励の言葉が贈られました。



- | | | | |
|-------|-------|-------|---------------------|
| ■大会結果 | 中学生の部 | 優勝 | 白銀の翼(別海中央百人一首少年団) |
| | | ベスト8 | 竜神の紅翼(尾岱沼下の句カルタ少年団) |
| | 小学生の部 | ベスト8 | 竜神の翔(尾岱沼下の句カルタ少年団) |
| | | ベスト16 | 白銀の龍(別海中央百人一首少年団) |

第7次 別海町総合計画

第7次別海町総合計画 計画期間

2019年度から2028年度

みんなでつなぐ 実りある ふるさと 共創プラン

人がつながり 未来につながる 海と大地に夢があふれるまち
～いつも心に広がるふるさと べつかい～

新たな、まちづくりの指針となる第7次別海町総合計画が2019年度（平成31年度）からスタートします。

この計画では、目指すべき将来像を「人がつながり 未来につながる 海と大地に夢があふれるまち ～いつも心に広がるふるさと べつかい～」としました。世代や環境を越えた人と人のきずなを深め、豊かで美しい大自然を活用した産業の発展、さらに、ふるさとべつかいをいつまでも心の中に思えるような願いが込められています。

この豊かなふるさと別海町を次世代へしっかりと引き継いでいくために「みんなでつなぐ 実りある ふるさと 共創プラン」を合言葉に、町民の参画と協働の下、行政が一体となって計画を推進していきます。

新たな総合計画策定に当たり、ご尽力賜りました総合計画策定審議会、町民検討委員やアンケートなどで貴重なご意見をお寄せいただいた多くの町民の皆さまに心からお礼申し上げます。

町ホームページ
検索キーワード

第7次別海町総合計画



検索



問合せ／総合政策課企画振興担当（内線2213）

元気未来っ子^{ちひっこ}

1歳6か月児

（ ）内は保護者名
※希望された方を掲載しています。



吉田 あおいちゃん
(健太郎)



出上 さな
紗奈ちゃん
(直也)



菅沼 あゆむ
歩睦くん
(貴昭)



豊田 つむぎ
紬ちゃん
(純平)



下柝棚 おうしん
鳳心くん
(聖)



槻木 みちか
亨香ちゃん
(伸昭)

「いのち支える別海町自殺対策行動計画」を策定しました



わが国の年間の自殺者数は2万人を超えるという非常事態が続いています。北海道では年間900人余り、中標津保健所管内は2012年（平成24年）から5年間で50人、本町においても同期間に21の方が自ら尊い命を絶つという深刻な事態となっています。

本町では、地域全体で自殺予防対策に取り組み、誰も自殺に追い込まれることのない別海町の実現を目指し「いのち支える別海町自殺対策行動計画」を策定しました。

自殺の現状

本町の自殺死亡者は、2009年（平成21年）から2016年（平成28年）までの8年間で34人（年平均4.25人）となっており、地域間の比較に用いる「自殺死亡率」（人口10万人当たりの自殺者数）は年26.6人となります。これは全国（年21.6人）、全道（年23.1人）と比較しても高い数値です。

また、全国、全道の自殺死亡率は8年間で年々減少していますが、本町では年による増減はありつつも、減少しているとは言えない状況です。



出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロフィール（2017）」

計画の目標値

本町の「自殺の現状」を踏まえ、全国、全道の水準に近づけることを目標とし、2019年から2023年の5カ年で、自殺死亡率を年15.9人（年10.7人減）以下を目指すこととします。

	現 状			目 標		
	基準年	自殺死亡率	実人数	基準年	自殺死亡率	実人数
別海町	2009～2016年 (平成21～28年) (8カ年平均)	26.6	4.25	2019～2023年 (5カ年平均)	15.9以下	2.55以下

出典：自殺統計

自殺対策の取り組み

5つの基本施策

自殺対策を進める上で欠かすことができない基本的な5つの取り組み

- 地域におけるネットワークの強化**
自殺対策に係る関係機関等の連携を図り、ネットワークの強化を進めます。
- 自殺対策を支える人材の育成**
さまざまな悩みや、生活上の困難を抱える人に対して、誰もが早期の「気づき」に対応できるよう、さまざまな職種の方を対象とする研修会を開催し、地域の人材の育成と関係機関の相談員の資質向上を図ります。
- 町民への啓発と周知**
自殺に関する正しい認識を広げ、自殺を考えている人の存在に気づき、必要な支援につなげるため、自殺予防の普及啓発と、こころの健康に関する相談窓口の周知活動を行います。
- 生きることの促進要因への支援**
さまざまな分野で悩みを抱えた人が孤立しないように、相談や居場所づくり等を通じた「生きることの促進要因」への支援を進めていきます。
- 児童、生徒のSOSの出し方に関する教育**
児童、生徒が直面する問題に対処する力やライフスキルを身に付けることができるよう取り組みます。

3つの重点施策

本町の自殺の現状から、重点施策として取り組む3つの項目

- 子ども、若者への対策**
児童、生徒に対するSOSの出し方に関する教育（基本施策）を推進するとともに、児童、生徒や若者が抱え込みがちな問題に対して包括的な支援を推進します。
- 勤務、経営問題への対策**
有職者や経営者へのメンタルヘルスに関する正しい知識の啓蒙を図り、問題を抱えた際に適切な相談先につながるよう、相談体制の整備や相談窓口の周知を行います。
- 無職者、失業者、生活困窮者への対策**
町税および各種料金徴収業務を通じた生活困窮者の早期発見と対応、無職者や失業者等が抱え得る多様な問題に対する包括的な支援を推進します。

計画期間

この計画は2019年度を初年度とし、2023年度を目標年度とする5カ年計画です。

詳しい計画の内容は、町ホームページのほか、別海町民保健センター、各支所、各連絡事務所、図書館で縦覧することができます。

町ホームページ
検索キーワード

いのち支える



問合せ／保健課 成人保健担当 TEL 75-0359